

9 花山天文台創立70周年記念事業

9.1 記念講演会・祝賀会

平成11年度に創立70周年を迎えた花山天文台は、これを記念して平成11年11月27日(土)午前10時から京大会館において、講演会と祝賀会を開催しました。講演会では、花山天文台の歴史と花山天文台・飛騨天文台で現在行われている教育研究の最前線が紹介されました。またこの中で、新しい試みとして、飛騨天文台と花山天文台で撮影された太陽の高分解画像が、それぞれリアルタイムで会場に送信され、一般市民を含めた約100人の聴衆の前でスクリーンに上映されました。講演者と演題は次のとおりでした。



祝賀会の様子。長尾 真 京都大学総長。

- (1) 黒河 宏企 天文台長「花山天文台の70年」
- (2) 赤羽 徳英 理学研究科助教授「花山天文台と惑星観測」
- (3) 北井 礼三郎 理学研究科助教授「太陽の素顔」
- (4) 柴田 一成 理学研究科教授「活動する宇宙」



祝賀会の様子。丸山 正樹 大学院理学研究科長。



講演会の様子。

70人の出席者が和やかに歓談しました。

午後1時より祝賀会が開催され、黒河天文台長が「この70周年を大きな節目として、飛騨天文台とともに、更に新しい研究課題に挑戦し、若い力が一層活躍する教育研究の場として発展させて行きたい」と挨拶し、つづいて、丸山正樹理学研究科長、斎藤衛理学研究科宇宙物理学教室主任、日江井栄二郎明星大学長から祝辞が述べられました。引き続き長尾真総長の祝辞と発声により乾杯した後祝宴に入り、元附属天文台長川口市郎名誉教授らの思い出話が披露され、

9.2 花山天文台一般公開



一般公開。18 cm 屈折望遠鏡ドーム内での太陽撮像観測の紹介。



一般公開。45 cm 屈折望遠鏡による惑星の観望。

70周年事業の一環として、11月20日(土)と27日(土)の両日にわたり、午後2時より花山天文台の一般公開が実施されました。望遠鏡設備の説明、ビデオ・ポスターの展示をはじめ、昼間は太陽の撮像観測、分光観測の実演、夜間は木星、土星、月の観望指導などが行われました。お年寄りから子供まで広い年齢層にわたる合計約450人の参加者があり、盛況でした。とりわけ、20日は快晴に恵まれて、熱心な見学者の希望により、45 cm 屈折望遠鏡による観望が夜10時30分まで延長して行われました。



一般公開。45 cm 屈折望遠鏡ドームへつづく階段に列をつくる見学者。